

「ながと仙崎花火大会」
終了のごあいさつ

「ながと仙崎花火大会」は昭和30年(1955年)、7月の仙崎祇園祭り協賛として、仙崎地区産業界の自主開催で始まりました。

最盛期は西日本随一の花火として周知され、令和元年(2019年)第65回まで継続開催致しました。

しかし、令和2年から3年間(第66回～第68回)は、新型コロナウイルス感染症の影響でやむなく中止となり、実行委員会では令和5年以降の開催について慎重に検討を重ねてまいりました。

その結果、コロナ禍の経済下、協賛金が困難な状況であること、また花火代金が大幅に高騰し、安心・安全な実施にかかる諸経費増大も避けられない等の現状から継続開催は困難と判断し、本大会の幕を閉じさせて頂くことと致しました。

これまでご協賛頂いた企業・団体・関係機関の皆さま、また運営にご尽力頂いた関係者各位には心よりお礼申し上げます。

また、開催を楽しみにして頂いた皆さまにはご期待に添えず誠に申し訳ございません。

今後は他の経済団体等が開催される花火大会を、後援として協力したいと存じます。

なにとぞご理解賜りますようお願い申し上げ、終了のごあいさつと致します。

令和5年5月8日

長門商工会議所
ながと仙崎花火大会実行委員会